

授業科目名・形態	就労支援論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	阿部 俊彦	実務経験の有無	無	開講期	4 年前期

【授業の主題】

相談援助活動において、障害者をはじめとする「就労が困難な者」（根拠法：雇用対策法）が必要とする各種の就労支援制度、就労支援に係る組織・団体専門職の役割と連携について理解する。

【到達目標】

以下の項目について実践的に理解することができる。

1. 「働くことの」の意味
2. 雇用・就労の動向と施策
3. 障害を抱えるクライアントの就労支援
4. 低所得者に対する就労支援の方法（支援における課題に関する説明を含む）

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション・授業の進め方・働くことの意味と社会福祉士の役割
- 第2回 雇用・就労の動向と施策（1）
- 第3回 雇用・就労の動向と施策（2）・・・労働に関する法律と制度
- 第4回 障害者と就労支援（1）・・・障害者雇用の状況
- 第5回 障害者への就労支援（2）
- 第6回 低所得者への就労支援（1）
- 第7回 低所得者への就労支援（2）
- 第8回 講義のまとめ

【授業実施方法】

講義形式で行う。レジュメを配布し、パワーポイントを用い、授業展開する。また、適宜、新聞記事や映像資料等を適宜使用し、双方向性授業を図る。

【授業準備】

社会福祉士国家試験必須科目。授業計画で指定したテキストの範囲を事前に読んでおくこと。

【主な関連する科目】

公的扶助論、障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ、高齢者福祉論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】

社会福祉士養成講座編集委員会編：新・社会福祉士養成講座 18 『就労支援サービス』第4版 中央法規 2016

【参考文献】

特になし。テキスト以外で必要なものは授業で紹介する。

【成績評価方法】

成績評価は試験（90%）、課題提出や授業への取り組み姿勢（10%）で総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

履修学生は予習と復習を行うことで科目の理解度を深めること。